

特集

1. 集落営農の課題
2. 春の農作業
3. 小麦の生育状況
4. 飯用米申込み
5. デルタ稼働



転作跡（豆ガラ）

4 月 22 日に水田内の豆ガラ除去へのご協力ありがとうございました。お陰様で、無事に田植えをすることが出来ました。転作跡の水稲作付には、課題として対策をする必要がある。

ひとこと

最近は従来の視点からの歴史観ではなく、多角的に捉える書物が出版されている。呉座氏の「応仁の乱〜」や磯田氏の「日本史の内幕」等が、たいへん面白く読むこと出来る夜長です。㊤

集落営農の課題

肥田町の集落も他地域と同様に、農業従事者は減少・高齢化へと進行している。現在、農作業の中心を成しているのは 60 代が中心で、若年層は一握りです。5 年後、10 年後の法人の行く末をビジョン化することが、可能なのかいささか心配している。近隣の集落でも同じように差し迫った問題点のようである。新たな人材育成や、集落にとらわれない広域連携も、農業の継承に向けて模索していくことも一考かなと思う。



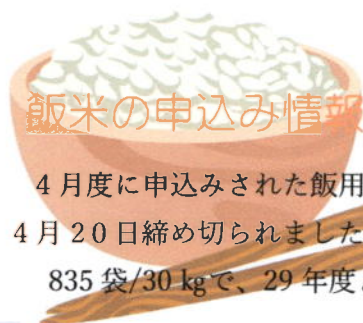
4 月 25 日 育苗の現地研修会

水稲作付始まる

4 月上旬より、畦畔の畔塗・荒堀・^{かじ}・代かきと作業が続き、4 月 28 日から A 圃場より、順次田植えが始まりました。田植え後は、適正な水管理での安定化を!!

小麦の生育状況

春先からの気温上昇に伴ない、穂先も順調に伸びてきました。4 月 28 日には、1 回目の無人ヘリ防除を実施。2 回目は 5 月 7 日に予定されています。



飯米の申込み情報

4 月度に申込みされた飯用米申込みは 4 月 20 日締め切られました。総数は 835 袋/30 kg で、29 年度より 14 袋の

減少とのことです。

デルタクロトラクター



デルタクロ仕様
のトラクターが 4 月
月上旬より稼働した。
湿田対策に大いに
貢献を期待大!!

第 1 期 1951 年 1 月 1 日

第 1 期 1951 年 1 月 1 日

日本トヨタ自動車



自動車製造工場 内部の様子

トヨタ自動車は、日本を代表する自動車メーカーとして、国内外に多くの自動車を提供しています。その品質と信頼性は、世界中で高く評価されています。また、最新の技術と設備を備え、効率的な生産体制を構築しています。今後も、お客様のニーズに応じた多様な自動車を開発・生産し、社会に貢献してまいります。

トヨタ自動車株式会社

東京都港区新橋 2-1-1

電話 03-3541-1111

電報 3541

電報 3541

トヨタ自動車株式会社

トヨタ自動車株式会社は、日本を代表する自動車メーカーとして、国内外に多くの自動車を提供しています。

トヨタ自動車株式会社は、日本を代表する自動車メーカーとして、国内外に多くの自動車を提供しています。

トヨタ自動車株式会社

東京都港区新橋 2-1-1

電話 03-3541-1111

電報 3541

電報 3541

電報 3541

電報 3541

電報 3541

電報 3541

トヨタ自動車株式会社

トヨタ自動車株式会社

トヨタ自動車株式会社

トヨタ自動車株式会社

トヨタ自動車株式会社

トヨタ自動車株式会社



トヨタ自動車株式会社

東京都港区新橋 2-1-1

電話 03-3541-1111

電報 3541

電報 3541

電報 3541

電報 3541

電報 3541

電報 3541

電報 3541